

市報がNo.600を
迎えました！
これからも
よろしくお願いします！

いこいな
©シンエイ/西東京市



にしとうきょう

一人ひとりが幸せを実感できるまちへ 次世代につなぐ まちづくり

令和7年の第1回市議会定例会は2月25日に開会し、一般会計予算案や各種議案を審議しています。開会に当たり池澤隆史市長が施政方針を表明しました。



施政方針

持続可能な社会を築き、
笑顔あふれる元気なまちへと発展させていきます



全文は、市庁・情報公開コーナー(田無庁舎5階)・図書館で見ることができます。

▶企画政策課
☎042-460-9800



はじめに

私は、2月2日の西東京市長選挙において市民の負託を受け、2期目の市政運営の重責を担うこととなりました。改めて、市民の皆様とともに市政を前へと進めてまいりたいと、決意しています。これまで現場の声を大切にすることを第一として、時間が許す限り各種イベントやワークショップなどの会場へ直接足を運び、お子様からご高齢の方まで、多くの市民の皆様と対話を重ねてきました。このことが私の市政運営の原動力となっており、皆様からのお声を施策や事業に反映させ、まちづくりを進めてきました。

2期目のスタートに当たり、引き続き、市民の皆様のお声に耳を傾け、20万市民の皆様とともに、安全で安心して暮らせる西東京市を創るため、全力を尽くしてまいります。

これからのまちづくりに向けて

我が国は、本格的な「少子高齢化・人口減少社会」を迎えようとしています。労働力不足や経済成長の鈍化のほか、社会保障費の増大や税収の減少にも繋がる可能性が示唆されており、近い将来、雇用や医療、福祉といった社会活動の根幹となる広い分野・領域において深刻な影響が生じることが懸念されています。まさに社会の転換期であり、今こそ、将来のあり方を決めていかなければならない重要な時期であると認識しています。将来を見据え、持続可能な社会を築くためには、私たち一人ひとりが今やるべきことをともに考え行動し、更なる改革を進めていく必要があります。

令和6年度からスタートした第3次基本構想・基本計画では「ともにみらいにつなぐ やさしさといこいの西東京」を、わたしたちの望みとして基本理念に掲げました。また、「学校が地域のキーステーション」であるとの認識のもと、将来のまちづくりに向け、「学校を核としたまちづくり」を位置付けています。

世界共通の指針であるSDGsの理念を念頭に置きつつ、政策の4つの柱とともに「次世代につなぐまちづくり」を施策推進のための基軸に据え、市民の皆様に「住んでよかった」「住み続けたい」と思っただけのまちづくりをさらに進めていきます。

政策の4つの柱

①

子どもが「ど真ん中」の
まちづくり

②

次世代につなぐ
環境施策

③

恒久的平和の
継承

④

若者とともにつくる
まちづくり



令和7年度施政方針の要約は、2・3面で紹介しています。